

したかど議論を進めて「きたい」との考えを示した。EU側が関心の高いチーズやワインなどの加工品の関税撤廃を求めているとの一部報道の是非には言及しなかった。チーズやワインは、政府が進める6次産業化で取り組みが期待される品目で、関税の扱い次第では成長の芽を摘みかねない。慎重な対応が求められるとみられる。

12月7～9日が有力

TPP閣僚会合で担当相 年内妥結めぐり攻防

甘利明TPP(環太平洋連携協定)担当相は22日の閣議後会見で、TPP交渉の閣僚会合が12月7～9日にシンガポールで開かれるとの報道に対し、「たいたいそんな日程になるのではないかと、この観測がある」と述べ、各国がその日程感で調整していることを認めた。開催地も含め、まだ調整中だが、同会合は年内妥結をめぐり最大のヤマ場となるため、開催時期と場所に注目が集まっている。

TPP閣僚会合は、同月3～6日のインドネシア・バリでの世界貿易機関(WTO)公式閣僚会議に合わせた開かれるとの見方が以前から出ている。各国の閣僚が集まる機会を利用して、TPP閣僚会合を開く段取りだ。ただ、甘利担当相によると閣僚会合の日程などについては正式な連絡はまだ来ていないという。

12月の閣僚会合に向けて、分野別の中間会合が順次開かれる予定で、日本が議長国を務める知的財産分野については今週

から来週にかけて、東京で開かれる見通し。米通商代表部(USTR)は、同中間会合のために交渉官が今週、日本を訪問すると公表している。

知的財産分野は、TPPで最も難航しているとされている分野。日本は、同分野の協議で主導的な役割を果たすことが交渉全体に有益に働くと見方を示している。関税協議に影響を与える可能性もあり、中間会合の進展に注目が集まっている。



5品目守る 国民と約束

「PPで重要5品目などを守るのは、どのようないかなる国際情勢でも国民を絶対に飢えさせないためだ」と、自民党の鬼木誠氏(衆・福

何としても守りたい」と強調する。PPで国際分業をえたい「食料はじまない。輸にしたい。金保障の重要論する。

食と農の祭典 東京で催し多彩

来月1日から農水省農水省は11月1日から「食と農林漁業の祭典」を開く。11月を食の月間と位置付け、東京都内で食に関する複数のイベント

トやフォーラムを集中して行う。国内の農林漁業・食品産業・農山漁村の価値を国内外に伝える。12月3日まで。祭典は今年で2回目。昨年は期間中に延べ約35万人が来場した。キックオフイベントとして1日

温暖化とTPP

グローバル化歯止めを

地球温暖化が止まらない。これに拍車を掛けるのが環太平洋連携協定(TPP)だ。輸入が増えるほど輸送に伴う二酸化炭素(CO2)などの排出量は増し、環境負荷は大きくなる。効率最優先のグローバル経済は、地球規模で環境と健康を危機にさらす。政府に政策転換を求めたい。

最高4.8度上昇と予測、人間活動が要因と指摘した。TPP「400冊」とは、IPCCが、地球全体の気温上昇を2度程度に抑えるための目安を指す。2度を超えれば、豪雨や台風が頻発する恐れがある。実際、国内でも近年は集中豪雨が多発。農業被害も甚大となっている。台風26号では土砂崩れで多数の命が奪われた。降雨や降雪、曇り、寒さの振れ幅も年々、極端になってきている。

国内の大气中のCO2濃度が上昇を続け、今年初めて全観測地点で400ppmを超えた。国連「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の第5次評価報告書も今世紀末に地上気温は

これを助長させるのがTPPだ。グローバル化による国境を越えた経済活動が、温暖化に拍車を掛ける、気候変動による環境破壊や健康被害を招くことにもつ目を向けるべきだ。

着目すべきは「フードマイル」だ。英国発の概念で、輸入相手国からの輸送距離に輸送距離を掛け合わせ、これにCO2排出係数を掛けて食料輸送に伴う環境負荷をはじき出す。農水省によると2001年時点では日本のマイルは約900億キロ、韓国や欧米に比べて突出している。

日本フードシステム学会の研究(11年)によれば、飼料高騰で輸入量が減った10年は約86

え、全ての食料が海外からの輸入となった時、海外から食料として入ってくる窒素と、国内の産業活動から排出される窒素量が増え、日本の窒素需給は大幅な供給超過に陥る」と指摘する。過剰窒素は地下水を汚染し、乳児が重度の酸欠状態になる「ブルーベビー症」などを引き起こす。安さや便利さを求め、安易に輸入に頼り続けることは、地球規模の問題となっており、人類の生命にはね返ってくる。求められるのは、足元の宝を見つめ直すことだ。再生可能エネルギー、地産地消、耕作放棄地の解消などが鍵となる。今こそ農山村から環境危機に歯止めをかけよう。

12月 食の問 ヒント 率向ト 者・団 組みを 紹介す ヨン・ 201 市を行

2013・10・23

論 説